



INTERVIEW

福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

先輩職員インタビュー

「みんなが、社会の中でいきいきと

暮らせる福島県を目指して」

● 所属 大笹生学園 指導課

● これまでの経歴(所属年度)

H28～ 大笹生学園 指導課



福 祉

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私は、大笹生学園という福祉型障害児入所施設で「児童指導員」として働いています。仕事の内容は、学園で生活する入所児童の生活支援のほか、一時的に預かる児童や短期で入所する児童の支援、関係機関との調整、季節行事を担当しています。勤務は日勤と夜勤の交代制勤務です。

仕事をしていてやりがいを感じるのは、担当する児童と一緒に立てた目標を、児童が達成できた時です。そうして一つずつ少しずつ、できることが増えて、児童の成長を感じられることが、とても嬉しく思います。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 私は、相手の方一人一人の気持ちに寄り添うことを目標としています。様々な立場、境遇の方がいるため、求められるサービスなども様々ありますが、職員一人一人が相手の思いに耳を傾け、真摯に向き合っていくことで、その人に合ったサービスを提供でき、一人一人が社会の中でいきいきと生活できるようになればと思います。



↑ 児童の調理実習の指導をしている様子



Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「教育学部出身の福祉職」「高速通勤」「趣味は漫画収集」「温泉旅行」「ワークライフバランス」

Q. 「教育学部出身の福祉職」

A. 私は大学時代、幼児教育・保育を専攻していましたが、ゼミで出会った先生や友人との勉強を通して、児童虐待問題に興味を持ち、虐待を受けている児童や保護者に関わる仕事をしたいと思ったことが、県の「福祉職」を志したきっかけです。

※ 福祉職を受験するための資格要件については、「大学卒程度」試験の受験資格（福祉）をご確認ください。



↑ 児童の余暇支援として UNO をしている様子

Q. 仕事をする上で心がけていることは何ですか。

A. 働いている上で最も勉強になると感じるのは、周りの先輩職員の支援の仕方を直に見ることです。

もちろん研修等に参加して知識を得ることも必要ですが、豊富な経験、知識を持った職員がたくさんいるので、日頃の児童支援の中で、先輩方の指導の様子を見て質問するように心がけています。



↑ 学園の「クリスマス会」で職員からの出し物（ダンス）を披露している様子